

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 竹下牧場
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：19,648,500円（42,660,000円）

4 事業内容

新たにチーズ工房を建築し、平成30年度より製造を開始する。製品は店舗・飲食店に販売をするほかに、牧場来場者への販売、牧場アクティビティに利用する。また（株）山川が管理運営するゲストハウス『USHIYADO』と連携した農泊ビジネス（農商工連携事業 通巻番号1-29-078）における宿泊者への地元農産物を利用した飲食の提供・お土産品の販売にも活用する。これらの事業を行うことにより、酪農の価値と魅力、北海道中標津のよさをアピールしていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (kg/日)	製造品目・ 年間製造量			年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年1月)	0				0	0	()	0	()	
目標値 (R2年度)	82	コンテ	ラクレット	パスタフィラー	7,046	2,610	()	11,880	()	
		900kg	900kg	900kg						
実績 (R2年度)	41	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,710	2,487	()	3,984	()	
		820kg	600kg	72kg						
実績 (R3年度)	35	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,087	2,563	()	5,082	()	
		540kg	600kg	64kg						
実績 (R4年度)	35	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,420	2,720	()	4,893	()	
		634 k g	515 k g	108kg						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 アドナイ
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：8,150,000円（17,604,000円）

4 事業内容

チーズ熟成室・カット包装室を新設し製品の価値を高め、収益性を高める。

5 成果目標の達成状況

	(トン/日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (29年度)	0.29	カチョカパロ	6.5	22,500	1,957	(-)	44,000	(-)
		セミハード	3.6					
		白カビ	0.4					
		ウオッシュ	0.3					
		合計	10.8					
目標値 (32年度)	0.47	カチョカパロ	6.5	32,000	1,711	(87.46%)	58,000	(131.82%)
		セミハード	5.6					
		白カビ	1.2					
		ウオッシュ	1.2					
		ハード	4.2					
実績 (2年度)	0.24	カチョカパロ	3.5	30,434	2,415	(123.42%)	40,000	(90.91%)
		セミハード	5.2					
		白カビ	0.3					
		ウオッシュ	0.4					
		ハード	3.2					
実績 (3年度)	0.34	カチョカパロ	3.2	27,000	2,015	(102.99%)	50,000	(113.64%)
		セミハード	5.2					
		白カビ	0.3					
		ウオッシュ	0.4					
		ハード	4.3					
実績 (4度)	0.40	カチョカパロ	3.8	28,725	1,553	(79.36%)	66,500	(151.14%)
		セミハード	6.1					
		白カビ	2.5					
		ウオッシュ	1.0					
		ハード	5.1					
		合計	18.5					

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を上回っていることから、目標以上の成果を達成したと評価する。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社あすなろファーマーミング
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：22,717,246円（50,328,000円）

4 事業内容

有限会社あすなろファーマーミング(以下、「当社」という。)は、十勝酪農地帯(清水町)において、土、草、牛の自然な好循環にこだわった生乳を原材料として、25年以上にわたり、牛乳、ヨーグルト、バター等を製造加工・販売してきた。チーズについては、当社ではチーズ製造施設を持たないことから、バイヤー等からの品揃えに係る要請(当社ブランドによるチーズ販売)に応える形で、他工場で製造したナチュラルチーズを仕入・販売してきた。しかしながら、今後の国際化の進展等を考慮すると、チーズについても、生産性や品質の向上を図りつつ、真に競争力のある製品を、当社で効率的に製造加工していく必要があると考えている。そのため、原料の生乳生産については、引き続き、十勝の大自然を活かしたこだわりの良質の生乳を生産するとともに、生乳生産牧場の当社で効率的に製造加工していくため、生乳生産牧場の近傍にチーズ製造加工施設を整備し、(一財)蔵王酪農センター、先進チーズ工房等の高水準の技術を導入しつつ、生産性が高く競争力のある当社ブランドの多様なナチュラルチーズを製造・販売し、消費者にこだわりの高品質チーズを提供することにより、次の事項を達成することを目的とする。

(1) 十勝の大自然の恵みを活かしたサステナブルな酪農、乳製品加工の定着 (2) 顧客、地域住民、来訪者等に対する正しい食知識の普及と国産牛乳乳製品の消費拡大 (3) チーズ製造加工施設を核とした地域の観光拠点の創設

なお、本事業を実施することにより、輸入品に対抗できる競争力のある乳製品の製造が実現するのみならず、国内チーズ工房との切磋琢磨等を通じて、国内の牛乳乳製品製造全体の合理化、効率化に寄与できるものと考えている。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量				年間製造経費	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	年間販売額 (千円)	備考
現況値 (○年度)		(例) 自カバ 〇〇トン					()		
目標値 (令和2年度)	0.3	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成	10,945	1,312	()	44,254
実績 (令和3年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成(ゴーダタイプ)	2,222	2,556	()	4,445
実績 (令和4年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴーダタイプ)	2,536	2,469	()	5,230

注：() には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：さらべつチーズ工房
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：29,465,000円（63,644,400円）

4 事業内容

生産能力の向及び製品の高品質化を実現するため、製造設備の集約化（離れた位置にあったチーズの製造室、熟成庫、パッケージ室を1ヶ所1棟として集約拡大し、作業内容に沿って効率的に配置）を実施した。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (平成30年 度)	0.36	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウオッシュチー ズ	モッツアレラ	24,194	3,810	-	25,229	-	
		2.1	1.54	1.8	0.91						
目標値 (令和2年度)	0.5	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウオッシュチー ズ	モッツアレラ	29,668	3,333	0.87	35,040	1.39	
		2.94	2.16	2.52	1.28						
実績 (令和3年度)	0.33	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウオッシュチー ズ	モッツアレラ	5,770	2,046	0.5	17,383	0.69	
		1.01	0.37	0.39	1.05						
実績 (令和4年度)	0.32	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウオッシュチー ズ	モッツアレラ	7,439	2,021	0.5	24,700	0.98	
		1.7	0.58	0.47	0.93						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を大きく上回ったが、年間販売額で目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：足寄町農業協同組合
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：9,352,500円（20,516,600円）
- 4 事業内容

生産量が少なく生産効率が低いことから、製造コストが高くなってしまいう課題に対し、製造量を増加するために機械を導入し、練り作業を1人体制で行なうことでセミハードの製造や包装作業の効率性を図ることで製造量と販売量の増加に取り組む。また、冷蔵熟成庫を配備することでフレッシュタイプのチーズを増産し、既存の乳製品販売ルート及び現状取引先の販売量の増加を図るとともに、既存には無い新規取引先取得に向け販売ルート構築等を積極的に進めていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (29年度)	0.8トン／日	モッツアレラ	カマンタイプ	ラクレット	ラクレットフレッシュ	42,265	2051.7	－	51,000	－	
		3.9トン	0.5トン	7トン	9.6トン						
目標値 (33年度)	1トン／日	モッツアレラ	カマンタイプ	ラクレット	ラクレットフレッシュ	51,598	1992.2	(0.97)	63,040	(1.24)	
		6.6トン	0.5トン	7トン	11.8トン						
実績 (4年度)	0.6トン／日	モッツアレラ	カマンタイプ	ラクレット	ラクレットフレッシュ	54,841	3264.3	(1.30)	56,407	(1.11)	
		4.3トン	0.5トン	4トン	8トン						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を大きく上回ったが、年間販売額で目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：ニセコチーズ工房有限会社

2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度

3 補助額（事業費）：51,900,000円（132,000,000円）

4 事業内容

チーズ工房を新築。約82㎡だった工房を約306㎡へ拡大、熟成庫も約3倍に拡大し熟成管理の精度もアップさせ、生産量を年11.2トンから14.3トンへ増産した。加えて、2ℓチーズバットと大型圧搾機を導入して増産体制を強化し、チーズバットの自動攪拌機の導入と真空包装機の大型化によりローコストオペレーションを実現した。更に、ブラックアウトなどの不測の事態に対応するための自家発電装置や金属探知機の導入により危機管理体制も整備して、安心・安全な製造設備とした。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年度)	0.239	ハード① 3.4トン	ハード② 3.7トン	ブルー 1.9トン	モzzarella 0.4トン	その他ソフト 1.8トン	27,437	2,449	－	56,626	－	
目標値 (令和3年度)	0.457	ハード① 4.0トン	ハード② 7.0トン	ブルー 5.0トン	モzzarella 0.4トン	その他ソフト 3.6トン	42,750	2,138	(87.3%)	100,000	(176.6%)	
実績 (令和3年度)	0.349	ハード① 4.0トン	ハード② 5.0トン	ブルー 3.0トン	モzzarella 0.3トン	その他ソフト 2.0トン	49,174	3,521	(143.8%)	87,901	(155.2%)	
実績 (令和4年度)	0.432	ハード① 4.1	ハード② 6.2	ブルー 4.0	モzzarella 0.4	その他ソフト 3.0	52,738	2,996	(122.3%)	100,004	(176.6%)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

事業者本人による評価はおおむね達成とのことであったが、年間販売額は目標達成したものの製造コストは目標を下回り、－10%にも達していないため、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：東円牧場株式会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：65,683,500円（160,315,650円）

4 事業内容

フランス原産のノルマンディー種の乳を利用して、ノルマンディー地方の特産品である白カビチーズを生産します。そのために必要なチーズ工房建屋またチーズ製造機器(チーズバット、熟成室、冷蔵室、冷凍庫、蒸気ボイラー等)を新規に導入し、国内産本格白カビチーズとして高付加価値な製品の製造・販売を行います。同時に、白カビチーズのブランド化を推進し、国内競争力を高めて参ります。また、北海道浜中町にフランスノルマンディーのテロワールを重ね合わせることで、浜中町の新たな特産品を生み出し、地域活性化の一翼を担って参ります。

チーズ製造に関しては、タカナシ乳業株式会社より技術者に出向いただき、生産・指導を行っていただきます。また、販売方法に関してはタカナシ乳業株式会社を通して流通いたします。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)			年間販売額 (千円)		備考
現況値 (令和元年度)	0		0	0	-		0	-	
目標値 (令和3年度)	0.197	白カビ	29,089	3,402	()	44,870	()		
		8.55トン							
実績 (令和3年度)	0.032	白カビ	23,224	22,657	()	9,620	()		
		1.025トン							
実績 (令和4年度)	0.052	白カビ	30,353	18,971	()	31,538	()		
		1.559トン							

注：() には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社広内エゾリスの谷チーズ社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：49,932,918円（120,016,000円）

4 事業内容

広内エゾリスの谷チーズ社チーズ工房
建物及びチーズパット（600L）等チーズ製造設備

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 （トン／日）	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 （千円）	年間製造経費（千円） ／年間製造量（トン）		年間販売額 （千円）		備考
現況値 （令和1年度）	0	ラクレット 0.0トン	白カビ 0.0トン	フレッシュ 0.0トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	0	0	-	738	-	
成果目標 （令和3年度）2021	0.33	ラクレット 6.4トン	白カビ 5.9トン	フレッシュ 1.2トン	グリュイエール 0.4トン	ルプロッション 0.3トン	27,971	1,970	（	46,382	-	令和2年2月竣工
実績 （令和3年度）2021	0.4	ラクレット 1.0トン	白カビ 6.1トン	フレッシュ 1.7トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	13,440	1,525	（	28,329	-	
実績 （令和4年度）2022	0.49	ラクレット 1.0トン	白カビ 7.6トン	フレッシュ 1.6トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	17,713	1,693	（	38,385	-	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和5年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社NEEDS
- 2 事業実施期間：令和元年度
- 3 補助額（事業費）：5,250,000円（11,550,000円）

4 事業内容

パスタフィラータ系の新商品開発ならびに既存製品の増産、さらには業務用大口ロットへも販路を広げ、販売額の10%増を図る。

その為に、既存製造施設内にパスタフィラータ系の練り機（インバータ制御機能付き、SR70 Black Teflon処理、成型機一体型）を導入し、インバータ制御の利点を生かし、時間当たりの処理スピードのアップを図り、将来的には2台稼働での生産体制を整え、ロット当たりの生産量を増加する。

結果、大口顧客への提供も可能となり、それに伴い販売額の10%増を図る。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年度)	1.340t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	95,826	2,328	－	171,756	－	
		24,146kg	8,104kg	4,932kg	3,138kg	836kg						
目標値 (R3年度)	1.480t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	100,826	2,221	(95%)	188,940	(110%)	
		27,000kg	8,770kg	5,340kg	3,400kg	880kg						
実績 (R4年度)	1.209t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	88,658	2,058	(88%)	176,830	(103%)	
		20,312kg	8,372kg	10,257kg	2,845kg	1,285kg						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社花畑牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度
- 3 補助額（事業費）：122,305,624円（269,072,374円）

4 事業内容

①モzzarella・ラクレットで広げたマーケットをさらに拡大すること、②第三の主力製品としてカマンベールの量産化・売上獲得を目的として、国産チーズの製造設備導入を行います。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (kg／日)	製造品目・ 年間製造量		年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (R元年度)	28.0	モzzarella	その他	1,938,000	1,810	100%	2,850,000	100%	
		640トン	380トン						
目標値 (R3年度)	34.0	モzzarella	その他	2,042,585	1,674	92.40%	3,465,000	121.50%	
		750トン	470トン						
実績 (R3年度)	50.0	モzzarella	その他	3,060,121	1,700	93.90%	5,081,000	178.20%	
		1,140トン	660トン						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を上回っていることから、目標以上の成果を達成したと評価する。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：きまぐれ牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度
- 3 補助額（事業費）：3,967,387円（8,728,254円）

4 事業内容

上砂川町の特産品の一つとしてふるさと納税にも組み込まれたウォッシュチーズを製造。またそのうちの1つは隣町新十津川町の日本酒を使うことで、近隣の町浦臼町と3町コラボのふるさと納税も開始。工房の横にパン工房兼直売所を設置し、ホエイを使用したパンのほか、ウォッシュチーズ、モッツアレラ、酸凝固、ストリングチーズ、フロマージュブランなどを販売。オンラインショップでも販売している。他会社のECサイトでチーズの販売も行う他、レストランなどで使用されたりもする。メディアへ出演し、広報活動も行うほか、SNSを活用し、お客さんに作り手の顔や製造の様子を伝えている。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・年間製造量			年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (○年度)		(例) 白カビ					()		()	
		〇〇トン								
目標値 (22年度)	0.04166	クリームチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3850	3850	()	6000	()	
		0.2	0.4	0.4						
実績 (22年度)	0.0129	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3563	11,457	()	4678	()	
		0.2728	0.0032	0.035						

注：() には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額が目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、評価報告に記載ある目標達成に向けた改善の取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。